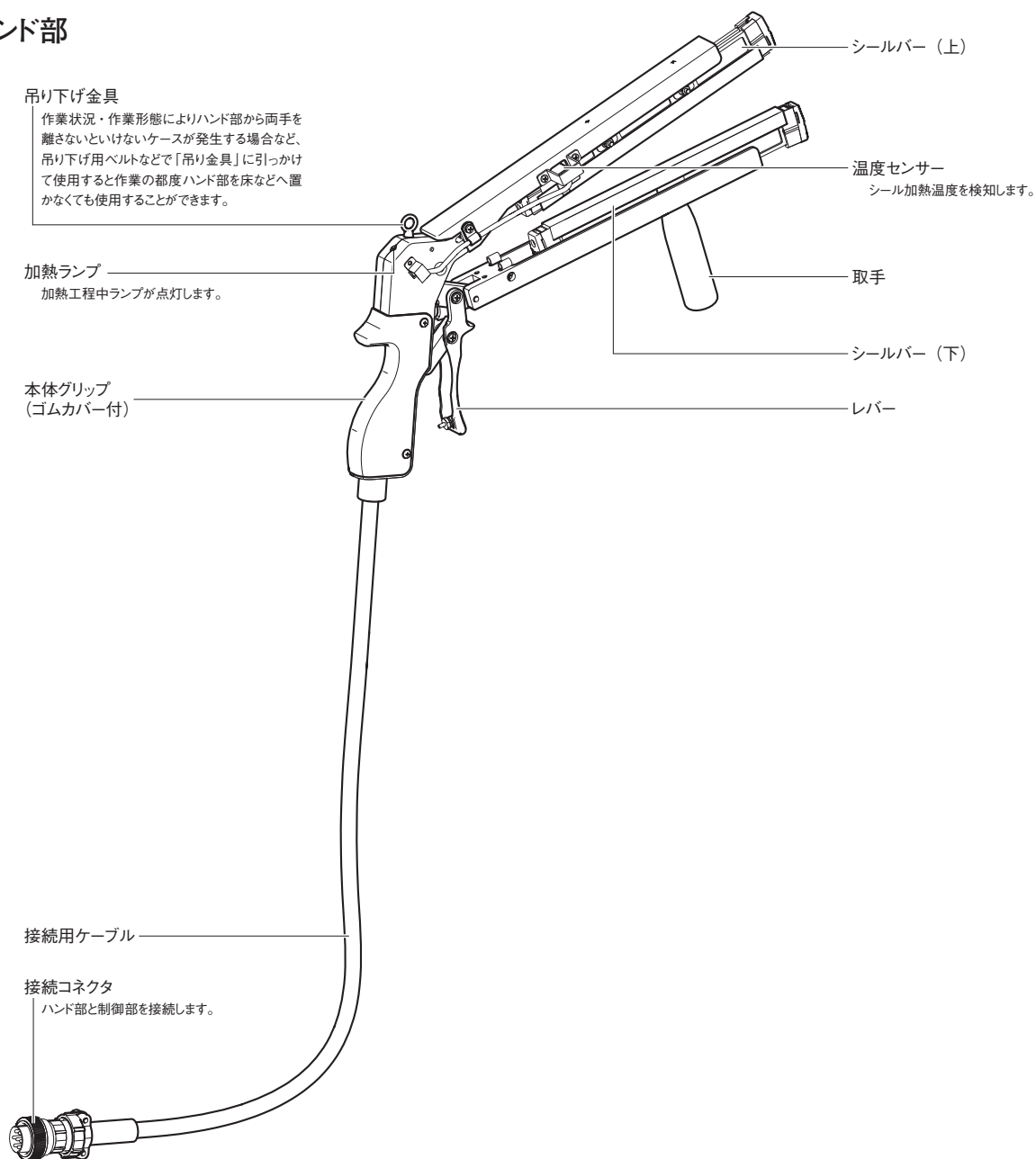
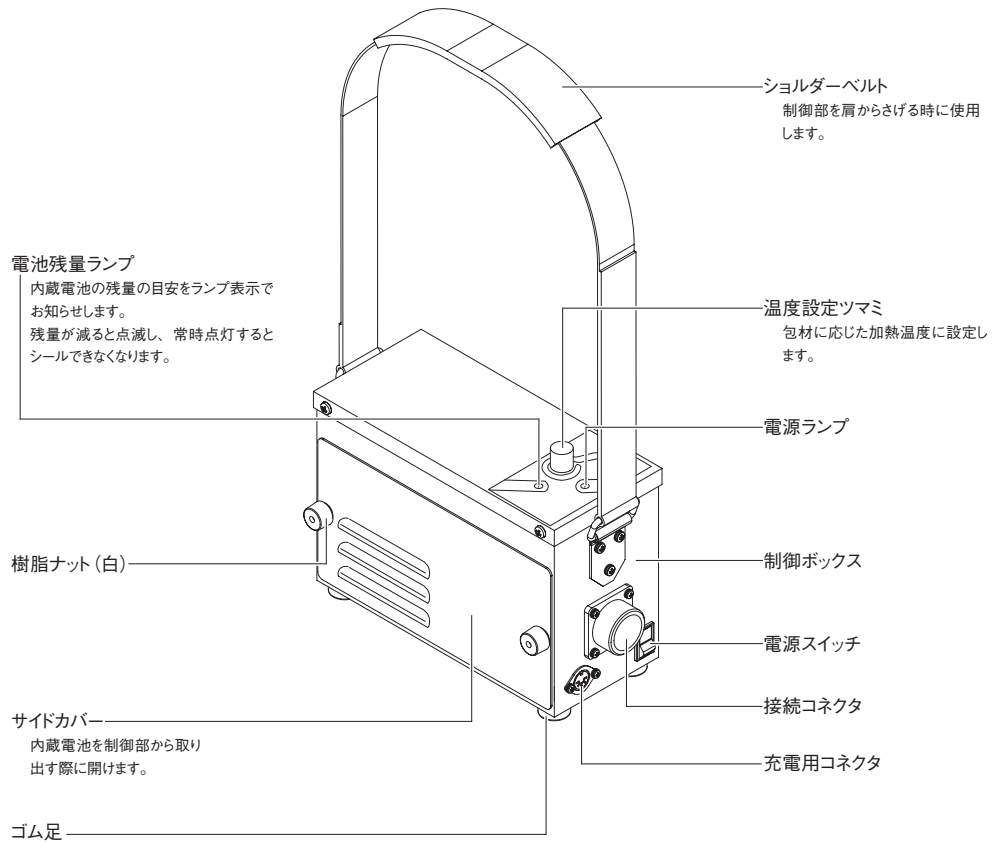


## 5 各部の名称とはたらき

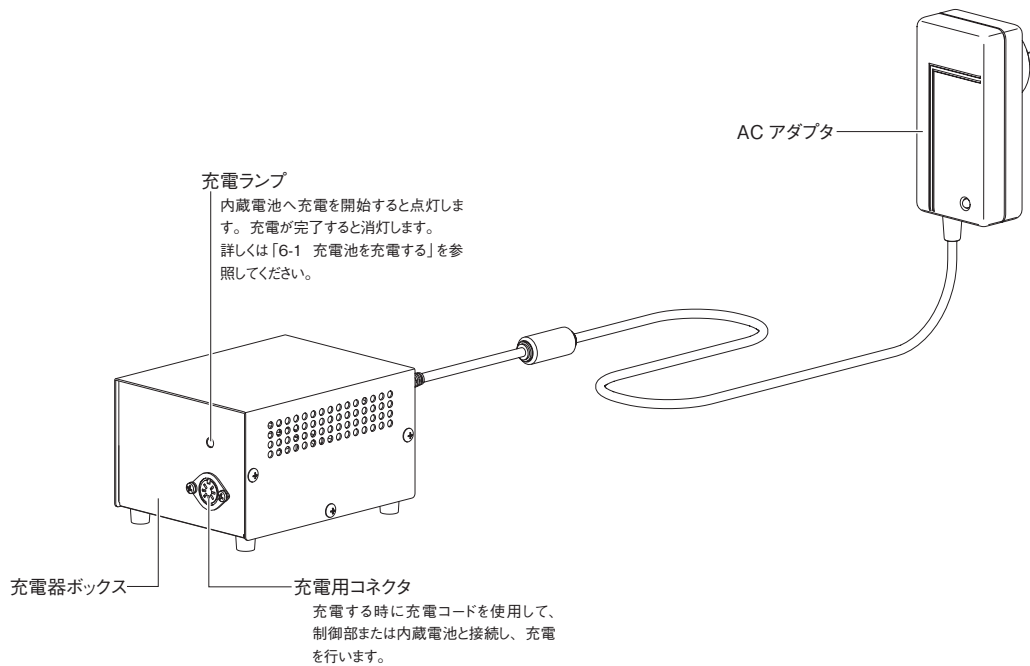
### ハンド部



## 制御部



## 充電器



## 6 正しい使い方

この製品を使用する時は以下の「正しい使い方」をよくお読みいただき、お使いください。  
以下の方法以外の操作方法で使用されますと故障の原因となり、たいへん危険です。

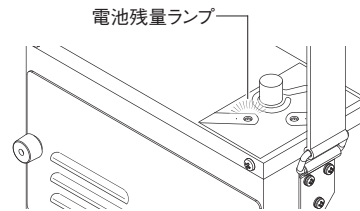
### 6-1 充電電池を充電する

内蔵の充電電池が消耗してくると制御部の電池残量ランプが点滅します。

点滅中は使用可能ですが、シール完了までの時間が通常より長くなります。

制御部の電池残量ランプが点灯したままになるとシールができなくなきますので充電が必要です。工場出荷時、充電電池には十分な充電をしております。

初めてご使用される場合、充電が消耗した場合は、以下の要領で充電を行ってください。



#### 6-1-1 充電電池を制御部にセットしたまま充電する方法

- 1 制御部電源スイッチを OFF にします。

**注意** 電源スイッチが入ったまま充電器を接続すると故障の原因になる場合があります。

- 2 充電器と制御部の充電用コネクタに付属品の充電コードのコネクタを差して接続してください。
- 3 充電器背面の DC ジャックに AC アダプタの出力プラグを差し込みます。
- 4 充電器の AC アダプタを電源コンセントに差し込みます。

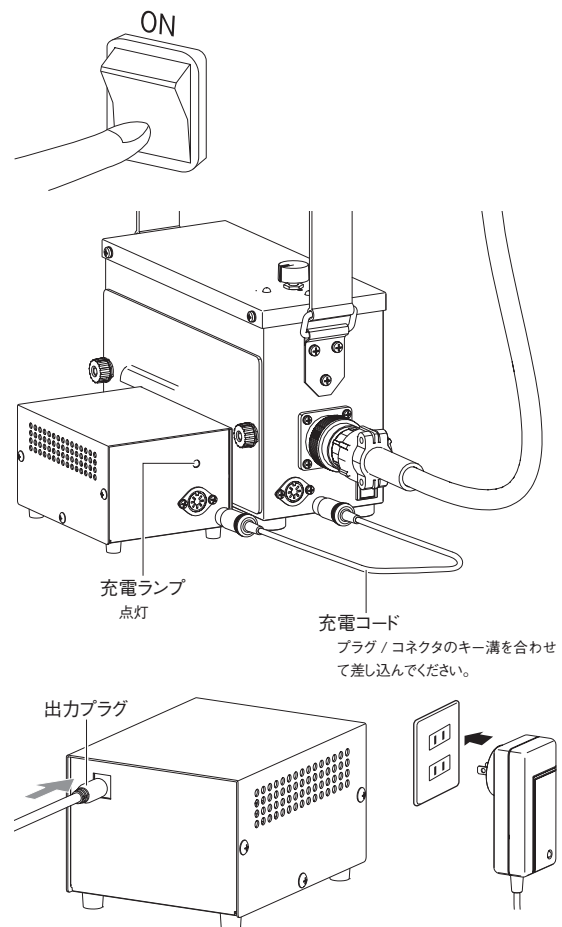
**注意** 規定の容量に合わない電源から充電した場合、火災などの危険があります。

- 5 充電器の充電ランプが点灯します。

**注!** 充電時間は最大 4.5 時間です。

**注!** 連続使用などで、充電電池の温度が上昇している場合は、電池の温度が下がった時点で、充電ランプが点灯し、充電が開始されます。

- 6 充電が完了すると充電ランプが消灯し、充電完了です。
- 7 充電が終わりましたら充電コードを外して充電器の AC アダプタを抜いてください。



## 6-1-2 充電電池を制御部から取り外して充電する方法

- 1 「7-7 充電電池の交換」を参照して、充電電池を制御部本体から取り出してください。
- 2 充電電池の DIN コネクタを充電器の充電用コネクタと接続してください。
- 3 充電器背面の DC ジャックに AC アダプタの出力プラグを差し込みます。
- 4 充電器の AC アダプタを電源コンセントに差し込みます。

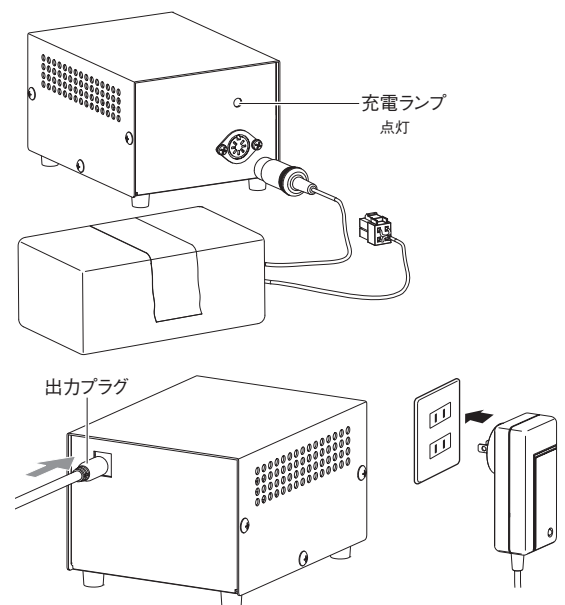
**注意** 規定の容量に合わない電源から充電した場合、火災などの危険があります。

- 5 充電器の充電ランプが点灯します。

**注!** 充電時間は最大 4.5 時間です。

**注!** 連続使用などで、充電電池の温度が上昇している場合は、電池の温度が下がった時点で、充電ランプが点灯し、充電が開始されます。

- 6 充電が完了すると充電ランプが消灯し充電完了です。
- 7 充電が終わりましたら「7-7 充電電池の交換」を参照して、充電器から電池の DIN コネクタの接続を外してください。また、充電器の AC アダプタを抜いてください。

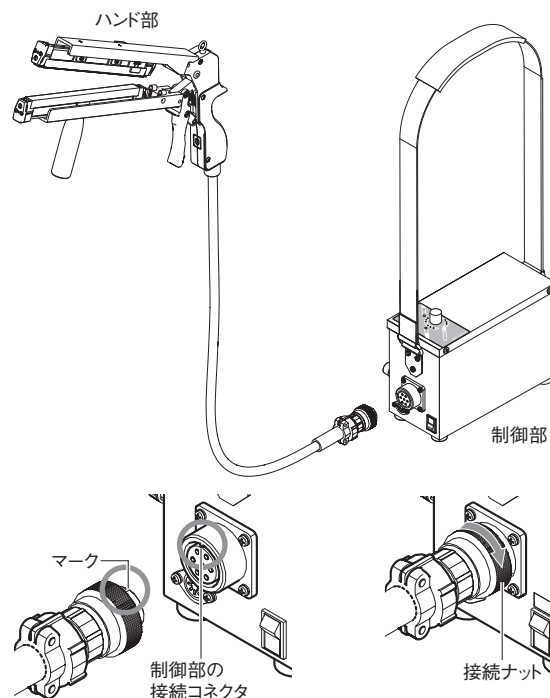


## 6-2 ハンド部の取付

工場出荷時に制御部からハンド部を取り外して梱包しています。

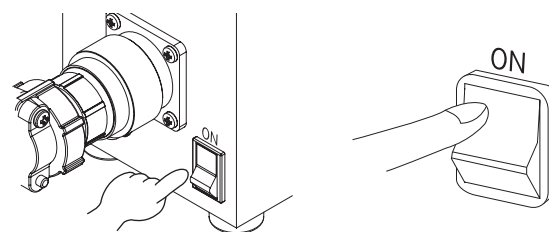
ハンド部の接続コネクタを制御部の接続コネクタに差し込みます。制御部の接続コネクタにある溝とハンド部の接続コネクタのマーク部を一致させて差し込んでください。

差し込まれましたら、ハンド部のコネクタについてある接続ナットを回して接続を確実にしてください。



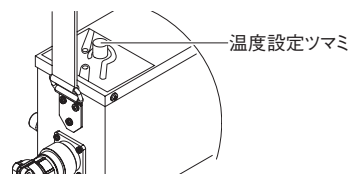
## 6-3 電源スイッチ ON

制御部の電源スイッチを押して ON にすると制御部の電源ランプが点灯します。

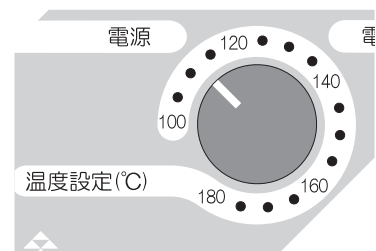


## 6-4 加熱温度の設定

制御部にある温度設定つまみで包材に適した加熱温度を設定します。

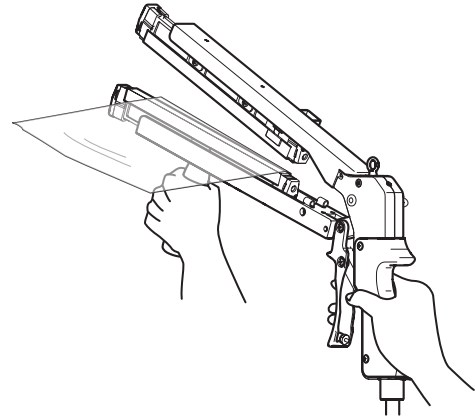


**注!** パネルの温度表示は目安です。

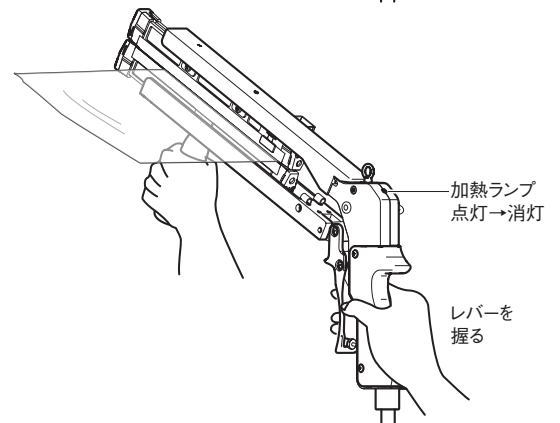


## 6-5 レバーを握りシールを行う

シール部に包材をセットします。



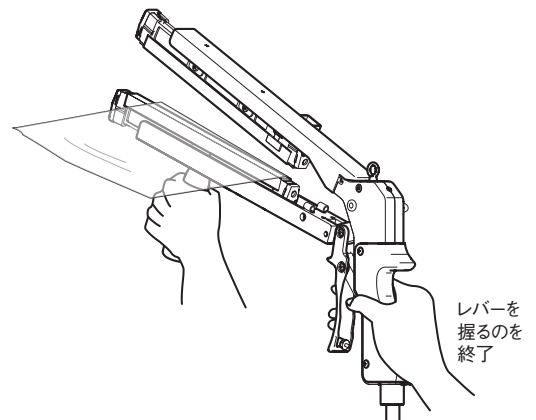
本体のレバーを引き(握り)ます。  
レバーを引き(握り)ますと本体部の加熱ランプが点灯します。  
設定加熱温度に到達すると本体部の加熱ランプが消灯します。



## 6-6 シールのできあがり

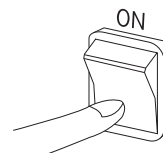
ヒーター部温度が設定冷却温度まで下がりますとブザーが鳴り、制御部の冷却ランプが消灯しますので、ブザーと冷却ランプを目安にしてレバーを引く(握る)のを終了し、シール部を開口して包材を取り出します。

**注!** 包材により冷却温度は異なります。ブザーを目安にしてください。



## 6-7 電源スイッチを OFF にする

作業が終了したら、必ず電源スイッチを押して OFF にしてください。長時間使用されない時は制御部からハンド部を取り外してください。



## 6-8 作業終了後の点検

終了したら、清掃を行い、センタードライテープやヒーター等の部品が傷んでいないか点検を行ってください。  
傷んでいるようであれば「消耗部品交換の方法」をお読みいただき交換を行ってください。